

2019-20 年度 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー / ガバナー:鈴木秀憲 / 会長:小椋 剛 / 幹事:野口一信
クラブ会報委員会 委員長:小池俊輔 / 例会日:木曜日 午後 12:30 開会 / 会場:ベルヴィアイトピア

第2598回 1月第3例会 1月30日(木)

[夜間例会]

- | | |
|------------------|---------------------|
| ●点鐘 小椋 剛 会長 | ●委員会報告 |
| ●国歌斉唱、ロータリーソング斉唱 | ●卓話(日本大学教授 所 伸之 先生) |
| ●四つのテスト唱和 | ●出席奨励・スマイル委員会 |
| ●会長の時間 小椋 剛 会長 | ●点鐘 小椋 剛 会長 |
| ●幹事報告 野口一信 幹事 | |

点 鐘

会 長 の 時 間



小椋会長

皆さんこんばんは、先週の例会はガーデンパレスでの初めての例会でしたが、イトピアに比べると幾分せまい感じですが、食事などの面はどうだったでしょうか、イトピアより距離的には遠くなりますが、ガーデンパレスがこれからホームグラウンドになりますので慣れて頂きますようお願いいたします。

本年度、防災を重点事業に掲げさせていただいてお

ります。昨年10月12日に上陸しました台風19号は、記憶に新しいところですが、強いまま上陸した最大の要因は、高い海水温だったようです。地球温暖化による海水温の上昇が台風の勢力を強め、毎年のように災害の頻度を増大させることになることは、避けられないと思います。今シーズン、記録的な暖冬になっているようですが、温暖化しているのは間違いないと思われます。先週、越後湯沢にスキーに行ってきたのですが、雪の少なさに驚きました。私の実家は会津の山奥ですが、私の90歳になる父親が、90年生きてきて、こんなに雪の少ない年は初めてだそうです。

地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」が今年から動き出すそうですが、気候変動が後戻りできない段階に近づきつつあることを示す科学的根拠は年々積み上がっているようです。脱炭素社会に向けて私たちも真剣に取り組まなければならない時期に来ていると思います。

自然災害は待ってくれません。温暖化対策と合わせて、防災に対する準備を日頃から心掛けておくことは、大変重要であると考えます。台風19号は、災害の少

ない行田に住む我々に防災意識を高めさせてくれました。来週は、いよいよ山村武彦氏をお迎えしての公開講演会です。再三お伝えしておりますが、来週2月7日（金）行田市商工センターで開催されます。古沢委員長はじめ地域防災委員会の皆様はもとより、会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今日は、今年に入りまして我がクラブだけの初めての夜間例会です。遅い新年会ですが大いに親睦を深めていただき、今年一年、よろしくお願ひしたいと思います。以上、会長の時間挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告



野口幹事

- ・ 2月6日 新入会員卓話（為員会員、坂本会員）
 - ・ 2月7日 公開講演会（山村武彦氏）
 - ・ 2月13日 夜間例会（ガーデンパレスにて）
 - ・ 2月20日 休会
 - ・ 2月24日 インターシティーミーティング
- 新型コロナウイルスなど健康に留意し、例会に多く参加ください。よろしくお願いいたします。

委員会報告



地域防災委員会 古沢委員長

2月7日、公開講演会となります。担当の方には3日前にご案内をいたしました。会員の皆様には月曜日に詳細のお知らせをいたします。3団体による共催ですので満席にしたいと考えております。皆様、ご協力よろしくお願いいたします。

卓話



講師紹介：職業倫理委員会 高橋委員長

〈講師略歴：所 伸之 先生〉

中央大学商学部、商学研究科、修士・博士号
経済博士号取得

玉川大学にて教育研究、教鞭をとり、その後日本大学商学部教授としてご活躍。主に環境と経営について専門としております。



日本大学商学部教授 所 伸之 先生

テーマ：「企業活動と環境問題：

CSR から CSV へ」

本日は環境問題と企業についてお話させていただきます。今まで何十年間、環境問題はマイナーなテーマでしたが、最近では温暖化問題など浮上し、世界的に関心が高まってきております。そんな中、企業活動においても非常に重要な分野であると言えます。

今日のお話は主に私が今まで研究してきたこと、今現在、私自身が考えている一端をお聞きいただきたいと思います。

内容は以下のような内容でした。

〈企業活動と環境問題〉考え方の変化

・1960年代・・・公害・汚染問題による健康被害の解決に向け、企業は環境保全のためにコストを負担し、必要な対策を講じ、社会的な責任を果たすべきである（CSR=Corporate Social Responsibility）

↓変化

・近年・・・ビジネスの手法として環境問題をとらえる＝企業が環境問題に取り組みながら企業のブランド力、競争力を上げながら利益につなげていく。正に経済的利益と結びついて環境問題をとらえる方向に比重が高くなってきている（CSV=Creating Shared Value）

〈環境問題を解決するためには〉

大小企業規模は関係なく、企業が持っている技術力、革新力、組織力など様々な企業の力を結集してイノベーションを起こすことが、環境問題を解決するには絶

対が必要です。しかし、グローバル社会での競争下、企業は利益を追求することを優先し、環境への取り組みがおろそかにします。このような間違っただけ方向へ進まないような仕組みづくりが必要で（たとえば・・・

- ① ESG 投資＝お金で企業を正しい方向へ導く仕組み
 - ② NPO 活動＝ネット社会の力を利用し正しい方向へ導く仕組み
- ・・・など）があります。

CSR から CSV へ変化する中で



社会・経済システムの変革が重要

以上のような内容のお話をさせていただきました。

出席状況報告

T	正会員数	63名
P	本日の出席者	37名
本日の出席率		59%

ニコニコ報告

○小椋会長

・所先生、本日卓話よろしくお願い致します。

○野口幹事

・所先生、卓話よろしくお願い致します。

○岡田会員

・行田市報 2 月号で息子が生き生き行田人のコーナーに掲載されました。皆さん読んでください。

※本日のニコニコは 5,000 円でした。

ありがとうございました。



司会 倉持会員